

専修コース申請書（新規・変更）

専修コース名【内科認定医・ 消化器内科専門医養成コース】

- ・募集されるコース毎に記入して下さい。
- ・貴施設の専修コース全体のスケジュールを表示する表や模式図を添付して下さい。

1. 診療科（専門領域）

内科一般
消化器内科

2. コースの概要

総合内科プログラム（2年間）及び消化器内科専門プログラム（3年間）

3. 取得資格

日本内科学会認定内科医・日本消化器病学会専門医等

4. 長期目標

前半の2年間で内科一般の知識・技術を幅広く修得する。後半の3年間で消化器内科分野における専門性も加えた内科医師となる。

消化器病学全般における幅広い知識と技術を習得し、後進に対する指導力を身に付ける。

関連学会における発表・論文作成

5. 取得手技

消化管：上部・下部内視鏡検査、治療内視鏡（EMR・ESD、EIS・EVL等）

胆膵の診断、治療手技：ERCP、EST、EPBD等

肝：各種画像検査、肝癌治療手技（TAE、PEIT、RFA等）

6. 期間

5年間

7. 募集人数

2名

8. 診療科（または関連診療分野）の実績と経験目標症例数
症例数と手術件数の調査年度（25年度）

主要疾患	入院数（年間）	経験目標症例数（5年間）
肝疾患 （急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、 肝癌、PBC、肝膿瘍、肝嚢胞等）	144件	16例
膵疾患 （急性膵炎、膵癌、膵嚢胞性疾 患等）	83件	10例
胆嚢・胆管疾患 （胆石・胆嚢炎、総胆管結石、 胆嚢・胆管癌等）	149件	16例
消化管疾患 （悪性腫瘍、良性腫瘍、IBD、 潰瘍イレウス、虚血性腸炎、憩 室炎等）	586件	80例

手術	件数（年間）	経験目標件数（3ヶ月）
上部消化管内視鏡（EMR、ESD等 を含む）	3156件	60件
下部消化管内視鏡（EMR、ESD 等含む）	1777件	20件
ERCP、EST、胆管ステント	215件	25件
胃・食道静脈瘤治療（EIS、EVL）	76件	10件
肝癌治療（TAE、PEIT、RFA）	51件	8件

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 6名、非常勤 2名

専修指導にあたる医師 6名

主として専修指導にあたる医師の氏名 川村 紀夫

〃 診療科経験年数 25 年

主として専修指導にあたる医師の氏名 上市 英雄

〃 診療科経験年数 15 年

10. コンセプト

当医療センター消化器内科の後期研修は、当センターの理念に則り、緊急疾患だけではなく消化器学全般の知識と技術を身に付け、高度で良質な医療を提供できる専門医の育成を目指しています。

そのため、当センターにおける研修では、消化器・肝・胆・膵といった疾患群によるグループ診療制をあえて採らず、グローバルな診療ができる診療体制をとっています。

後期研修医は主体的に診療に携わり、緊急疾患患者について、ファーストコールで対応し、専門医を含む医療チームが速やかに対処できる体制を確保します。また、入院患者の担当医として、中心的役割を果たし、全ての検査・治療に携わる事ができ、かつ治療は全て指導医のもとで行われるので、安心して技術を習得することができるように配慮しています。

1 1. 共通領域研修について

- ・週2回 消化器内科カンファレンス
- ・週1回 内視鏡画像カンファレンス
- ・週1回 消化器内科回診
- ・週1回 消化器がんサージボード
(消化器内科・外科、放射線診断部、IVR 放射線治療部、病理部、緩和ケア NS で構成)
- ・月1回 消化器内科症例検討会
- ・月1回 内科カンファレンス開催